

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	消防総務課担当課長	芥川 忠
消防-04 消防施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	消防総務課
総合計画上の位置付け		分野	防災・安全	施策の方針
				消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民及び消防職員等
意図	消防署所から遠距離にある地域の防火防災体制の強化等を図るとともに、防災拠点である消防署所の機能整備を図る。
効果	災害を最小限に抑え、救命率の向上及び、より快適、安全で安心に暮らせるまちづくりを図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

東日本大震災の津波に鑑み、本部機能を大船消防署へ移転するための改修工事を行う。 老朽化した腰越出張所を建替えるため、建物解体工事及び改築工事設計を行う。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					
事業の対象者数					
運営資源状況	当初予算(千円)	181,875	決算値(千円)	193,843	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債	181,600	地方債	186,500	
	その他		その他		
	一般財源	275	一般財源	7,343	
事業経費運営	人員配置数	0.6	人員配置数	0.7	
	人件費(千円)	4,954	人件費(千円)	5,521	
	総事業費(千円)	186,829	総事業費(千円)	199,364	
市民1人当りの経費(円)	1,054	市民1人当りの経費(円)	1,123		
対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	大船消防署:既存の大船消防署に本部機能が移転するため、各課の配置、設備等を考慮し改修を行う。 腰越出張所:老朽化した腰越出張所の改築の前段として、解体工事を実施する。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	大船消防署:防災拠点として適正な施設を構築するため、市関係課及び委託業者と綿密な打ち合わせを行った。 腰越出張所:庁舎解体に伴う付近住民への説明及び家屋調査の日程調整を行う。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	腰越出張所:現在、更地の状態であるが、議会承認された後、改築工事を実施する予定である。	
効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 大船消防署:平成27年4月に、本部機能が大船消防署に移転することにより、津波被害が解消され消防力の強化が図れる。また、同時進行で実施した消防救急無線及び高機能指令センターの構築も完了。今後、移転及び高機能指令センター運用に係るランニングコストを管理していく。 腰越出張所:今年度、改築工事を開始し、28年度中の完成を目指し、地域の防災拠点として新たに開庁する予定である。
総 評	消防力の強化維持に努め、今まで以上に、質の高いサービスを市民に提供する。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	庁舎改修の進捗状況						単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
消防本部機能を大船消防署に移転するための、改修工事を実施する。	目標値	100.0									
	実績値	100.0									
	達成率	100.0%									
指標の内容	庁舎改修に伴う効果						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
消防本部機能を大船消防署に移転することに伴い、津波被害のリスクを解消し、消防本部機能の維持強化を図る。	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値										
	達成率										
指標の内容	庁舎改修の進捗状況						単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
老朽化した、腰越出張所の改築工事を実施する。	目標値	100.0	100.0	100.0							
	実績値	30.0									
	達成率	30.0%									
指標の内容	庁舎改修に伴う効果						単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
津波に耐えうる、堅牢な庁舎を改築し、地域の防災拠点としての役割を果たし、腰越地区の災害に迅速的確に対応するもの。	目標値			100.0	100.0	100.0	100.0				
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	災害発生の防災拠点となる、消防庁舎の改修及び改築を実施し、市内全域の消防力の維持強化を図るもの。										

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
-------------------------------------------------------	-------------------------------------------------